

第1回みんなでまちづくり推進会議 会議録

■日 時：平成27年3月26日（木）18：00～20：20

■場 所：境港市役所第1会議室

■日 程

1 開会

2 会長あいさつ

3. 報告事項

(1) 参加と協働の実施状況（平成26年度実績見込み）について

資料1 『平成26年度から取り組んだ主な協働事業』

資料2 『参加と協働等の実施状況（26年度見込）』

4. ワールドカフェ方式による討議

～テーマ～ 地方創生において取り組む施策について

○雇用について（産業振興・観光振興）

○U I Jターンについて（移住定住・若者回帰）

○結婚～出産～子育てについて（未婚化・女性の活躍）

5. 総 括

6. 閉 会

■出席者（敬称略）

遠藤恵子、梶川恵美子、門脇京子、門脇紀文、

徳尾勝、土田良和、松本幸永、渡部敏樹

（欠席委員：石橋文夫、植田建造、水田浩司）

1 開会

(事務局)

委員の皆様本日はお忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。平成27年第1回境港市みんなでまちづくり推進会議を開催いたします。

最初に会長からごあいさつをいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

2 会長あいさつ

(会長)

ご多忙の中、お出かけいただき、ありがとうございました。現在まちづくりということが多くの場面で言われておりますので、いろいろな意見を出していただき、地方創生の参考にさせていただけたらと思います。

それでは、早速ですが始めたいと思います。

3 報告事項

(事務局)

まず、参加と協働の実施状況についてですが、各課に照会し、回答のあった事業が合計101となっております。その中で一番多かったものは共催・後援で33件です。また、庁内の課別では生涯学習課が一番多く47件です。

また、平成26年度から取り組んだ主な協働事業としまして4事業で男女共同参画講演会、アートスタート事業、境港市の文化財写真展、第2回境港の文化のつどいがございます。以上ですが、何か質問等はございませんでしょうか。

(委員)

事業費がかかっているものと、そうでないものを分けてまとめてはどうでしょうか。

(每熊アドバイザー)

以前にも申し上げましたが、限られた予算の中での実施ですので、それぞれの事業について効果や成果をはっきりさせた方がいいです。

(委員)

経過報告も大事ですし、我々も知りたいと思います。直接出向いて様子を見ることのできるものがありますが、そうでないものもありますので。

(委員)

報告書を必ず提出してもらうのはいかかでしょう。

(会長)

特に補助については提出してもらった方がいいですね。第3者にも分かるようなものを。そうすればそれを参考にされる方も出てくるかもしれません。

(地域振興課長)

補助金の場合は必ず実績報告書を出してもらおうのですが、市民活動推進補助金以外はその様式がどのような事業をして、どんな成果があったかを記載してもらおうようになっておらず、補助金の使途と、会計上の報告に留まっているというのが現状です。市としても変えていかないといけないとは思いますが、すぐに変更というのは難しいです。

(事務局)

たいていの事業が市の担当課と連携を取っておりますので、各担当課が感じた成果について聞き取りができますので、来年度の報告にはそのことを記載し、報告させていただきます。

4 ワールドカフェ方式による討議

(事務局)

それではワールドカフェ方式による討議に移ります。本日のテーマは地方創生において取り組む施策についてです。はじめに、地方創生について簡単に説明をさせていただきます。昨年5月に日本創生会議が大都市圏への人口移動が収束しないと仮定した場合の2060年までの人口推計を発表しました。それによりますと、20～39歳までの若年女性人口が全国の半数の自治体で半減するということです。それを受けまして、国が人口減少、地域活性化、東京一極集中の是正のため11月にまち・ひと・しごと創生法が施行され、人口ビジョンと総合戦略を立て施策に取り組むとしております。その中で努力義務ではありますが平成27年中に市町村にも総合戦略を作りなさいとなっております。その策定に当たり、行政だけでなく市民や各分野の方と一緒に考えていく必要があります。境港市では地方創生推進会議という会を立ち上げ、総合戦略の骨子を作成していきます。その前段としてみんなでまちづくり推進会議の委員のみなさまから意見をいただけたらと思います。

< ワールドカフェ方式による討議を開始 >

下記の3つのテーマについて、各テーブルに分かれて意見を出し合った。

(テーマ)

- ① 雇用について (産業振興・観光振興)
- ② U I J ターンについて (移住定住・若者回帰)
- ③ 結婚～出産～子育てについて (未婚化・女性の活躍)

(各テーマについて出た主な意見)

①雇用について（産業振興、観光振興）

- ・若い人への起業支援、職場体験の機会
- ・どのような仕事、企業があるか知らない
- ・時間をかけて課題や雇用促進のポイントを見極めていく

②U I J ターンについて（移住定住・若者回帰）

- ・人を外へ出さないではなく戻らせる
- ・子どもの時から郷土の良いところを知ってもらう
- ・住民が境港を好きになる、知る
- ・学生を巻き込む
- ・子育てのトータルサポートをウリにする（きらきら、ひまわり等）

③結婚～出産～子育てについて（未婚化・女性の活躍）

- ・素敵な結婚式場（クルーズ船の利用等）
- ・仲人の立ち上げ
- ・社会を構成する一員としての自覚を育てる
- ・新しいライフスタイルを提示
- ・世代を超えたシェアハウス

5 総 括

(每熊アドバイザー)

普段ワールドカフェを行う際は、全体のコーディネートをしておりますので、今回一緒に参加しまして、楽しく、新たな気づきもありました。

私の中でテコ入れが本日のキーワードでして、どこにテコを入れると動き出すかの見極めが大事だと思いました。最初に報告がありました協働事業についても闇雲にするのではなく、ポイントを見極める力が必要かなと思います。これは行政の仕事だと思います。そもそも雇用がなぜ生まれないのか、なぜ若者が戻ってこないのか、なぜ子どもが生まれないのか、その原因が分かっているのではないかとこのところではあります。本日は感覚的な話をする会でしたが、それぞれについて緻密な分析とシミュレーションをしっかりとやり、力を入れる点を見抜かないといけないと思います。まち・ひと・しごと創生法に従来の政策の検証というのがあります。国が自分たちで反省をしています。縦割りだった点、地域の特性を考慮しない、全国一律であった点、効果の検証を伴わないばら撒きであった点です。これらは国に限らず境港市も含め全自治体で言えることだと思いますので、しっかりと検証していく必要があるだろうと思います。

また、4つ目として地域に浸透しない表面的な施策であったとあります。対処療法的な事をやってきた。私が感じている一例としまして婚活です。婚活は大事かもしれませんが、職がない、金がないから結婚したくてもできないということもあります。これは対処療法ではどうしようもないです。そのあたりを深める施策も必要かと思います。

最後に短期的な成果を求める施策であったとあります。役所は単年度予算なので目先のことを考えがちですが、20年30年後といった長期的なビジョンを描きながら今何をすべきかを考えていかないといけません。そのなかで極端な、突拍子もない発想も必要ではないと思います。以上総括とさせていただきます。

6 閉 会